

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜1限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。
 ※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
 ①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容			
1回目	ITガイダンス com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。		
2回目	Word1 基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。		
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。		
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。		
5回目	Word4 図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。		
6回目	PowerPoint1 基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。		
7回目	PowerPoint2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。		
8回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。		
9回目	PowerPoint4 作成したスライドに動画を入れることができる。		
10回目	PowerPoint5-① プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
11回目	PowerPoint5-② プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
12回目	PowerPoint5-③ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
13回目	PowerPoint5-④ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
14回目	PowerPoint6-① 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
15回目	PowerPoint6-② 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。		
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>定期試験50%</td> <td>課題成果50%</td> </tr> </table> <p>評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</p> <p>Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。</p>	定期試験50%	課題成果50%
定期試験50%	課題成果50%		
受講生への メッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 テキスト:株式会社滋慶出版 COMPUTER BACIC WORD 2013・2016 その他:プリントを用意 データ保存用記憶媒体(USBフラッシュメモリ)			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようになります。
 ※実務者経験: 専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
 Word: 基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
 Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容

1回目	Word1-1 基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2 基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2 表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4 Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。(中間試験)
8回目	Excel1-1 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く)
9回目	Excel1-2 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式)
10回目	Excel1-3 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算)
11回目	Excel2-1 棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2 円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3 複合グラフの作成をことができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4 Excelで表とグラフを作成することができる。(期末試験)

準備学習
時間外学習
タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。

評価方法	中間試験と期末試験80% タイピング・課題成果20%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Word, Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
------	-------------------------------	--	------------------------------

受講生への
メッセージ
IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。
前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016
 その他: プリントを用意
 データ保存用記憶媒体 (USBフラッシュメモリ)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アンサンブルレッスン (Ensemble lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1,2年	担当教員	渡辺 智哉
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容			
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる		
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる		
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる		
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる		
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる		
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる		
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる		
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
15回目	アンサンブル総復習		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度10% 出席率10% 技テスト80%	実	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アンサンブルレッスン (Ensemble lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1,2年	担当教員	渡辺 智哉
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜1・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容																
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる															
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる															
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる															
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる															
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる															
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる															
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる															
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる															
15回目	アンサンブル総復習															
準備学習 時間外学習																
評価方法	<table border="0"> <tr> <td>授業態度10%</td> <td rowspan="4">実</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>出席率10%</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>技テスト80%</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	授業態度10%	実	評価方法はGPA制度となります	出席率10%	100~90点 S	技テスト80%	89~80点 A		79~70点 B			69~60点 C			59点以下 F不合格
授業態度10%	実	評価方法はGPA制度となります														
出席率10%		100~90点 S														
技テスト80%		89~80点 A														
		79~70点 B														
		69~60点 C														
		59点以下 F不合格														
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。															
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。																

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西村守
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	木曜4.5	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。グレン・ソーベル(インペリテリ、トニー・マカパイン)等と共に師の教則DVDのレコーディング・LIVEシューティングに参加。楽器メーカーのモニター・デモンストレーターとしても活躍							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容			
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。		
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。		
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。		
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。		
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。		
6回目	確認テスト		
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。		
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。		
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。		
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。		
11回目	16ビート上で正確に叩ける。		
12回目	16ビート上で正確に叩ける。		
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。		
14回目	テスト対策週		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習			
評価方法	試験80%、出席・授業態度 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西村守
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木曜4.5
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。グレン・ソーベル(インペリテリ、トニー・マカパイン)等と共に師の教則DVDのレコーディング・LIVEシューティングに参加。楽器メーカーのモニター・デモンストレーターとしても活躍。							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容		
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。	
2回目	コードの聞き分けができる。	
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。	
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。	
5回目	テスト対策(まとめ)	
6回目	確認テスト	
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。	
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。	
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。	
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。	
11回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。	
12回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。	
13回目	テスト対策(まとめ)	
14回目	テスト	
15回目	テスト返却 復習	
準備学習 時間外学習		
評価方法	試験80%、出席・授業態度 20%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォーカルレッスン (Vocal Lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	月曜1.2		

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
 また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。
 <講師プロフィール>有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校
 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを
 行う。

【到達目標】
 1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容

1回目	自己紹介で始まり、前期目標を説明。その後基礎トレーニング方法を実演出来る
2回目	基礎トレーニング講義、実演。ファルセットの発声法を習得
3回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。基礎を活かすための課題曲を実演出来る
4回目	全体基礎トレーニング実演。個人的課題曲を基礎を生かし歌唱出来る
5回目	1人1人イーストレッチ、ファルセット確認。メジャースケールでの発声出来る
6回目	メジャースケールでの発声を軸にマイナースケールでの発声出来る
7回目	基礎知識、トレーニング小テスト
8回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
9回目	全体基礎トレーニング。基礎を応用した課題曲を実演出来る
10回目	1人1人イーストレッチ、ファルセットを用いた課題曲を実演出来る
11回目	全体基礎トレーニング。1人1人イーストレッチ、ファルセットの発声法を習得
12回目	課題曲を通して基礎から応用できているかを確認し理解出来る
13回目	基礎トレーニングを通して発声法を説明出来る
14回目	課題曲を通して発声法を生かす事が出来る
15回目	前期基礎トレーニング実演テスト

準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習・復習
---------------	--------------------

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
------	--	--	---------------------

受講生へのメッセージ
 基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。
 他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長し
 ます。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォーカルレッスン (Vocal Lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース			曜日・時限	月曜1.2		

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
 また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校
 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを
 行う。

【到達目標】
 1年次終了時には、基礎知識を理解し、自発的にトレーニングを行える環境を整えることを目標とする。

授業計画・内容			
1回目	前期内容を振り返り、後期授業目標設定。基礎トレーニング方法を実演出来る		
2回目	新しい発声法を理解し説明出来る		
3回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る		
4回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る		
5回目	呼吸を理解し課題曲を実演出来る		
6回目	表情筋を使用し課題曲を実演出来る		
7回目	イーストレッチ・共鳴・裏声小テスト。課題曲指導。		
8回目	外化。課題曲実演会。		
9回目	ソルフェージュを行い課題曲の譜面を理解出来る		
10回目	新しい発声法を理解し説明出来る		
11回目	新しい発声法を用いてトレーニング出来る		
12回目	新しい発声法を用いて課題曲を実演出来る		
13回目	呼吸と表情筋を使い課題曲を実演出来る		
14回目	共鳴を理解し課題曲を実演出来る		
15回目	外化。課題曲実演会。		
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	基礎練習は地味ではありますが、ヴォーカリストとして必ず必要となる技術と知識を学ぶ事ができます。他者との比較ではなく、自分自身とみつめる時間を過ごすことで、ヴォーカリストとして必ず大きく成長します。トレーニングを習慣化させ、日々の成長に繋げていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォーカルレッスン (Vocal Lesson)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	木曜2・3限		
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 声を鍛えるための基礎知識を理解し、実演していく。さらに自ら歌へどのように活かしていくかを考え実行していく。 <講師プロフィール>有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリストスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 卒業するまでにプロシンガーとしての基礎知識を習得し、自ら迷いなく実施できるようにする。							

授業計画・内容			
1回目	学習した基礎知識を確認し、課題曲を実演出来る		
2回目	全体発声指導。新たな発声法を理解し説明出来る		
3回目	歌唱における姿勢を学び歌唱に生かす事が出来る		
4回目	複式呼吸を理解し説明出来る		
5回目	複式呼吸の理解し実演出来る		
6回目	姿勢、複式呼吸を用いてハミングを学び実演出来る		
7回目	姿勢、複式呼吸を用いて共鳴を学び実演出来る		
8回目	1人1人が基礎トレーニングを理解し実演出来る		
9回目	姿勢を再確認しファルセットを習得		
10回目	複式呼吸を再確認しファルセットを実演出来る		
11回目	姿勢、複式呼吸を用いて課題曲を実演出来る		
12回目	姿勢、複式呼吸、共鳴を用いて課題曲を実演出来る		
13回目	共鳴を用いてハミングによるソルフェージュを習得		
14回目	基礎を応用した課題曲を実演出来る		
15回目	前期基礎トレーニングテスト(全体基礎トレーニング・イーストレッチ・裏声)		
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	自分にしかない才能を開花させるためにはまず基礎を習得する事が必須となります。その為には多大なる時間をかける必要があります。今の自分に満足せずより高いレベルに行くために、日々課題をもって基礎トレーニングをしていきましょう。それを乗り越えた時には必ず成長した自分に出会えます。		
【使用教科書・教材・参考書】 iPad			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヴォーカルレッスン (Vocal Lesson)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース			曜日・時限	木曜2・3限		

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 声を鍛えるための基礎知識を理解し、実演していく。さらに自ら歌へどのように活かしていくかを考え実行していく。
 <講師プロフィール>有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校
 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを
 行う。

【到達目標】
 卒業するまでにプロシンガーとしての基礎知識を習得し、自ら迷いなく実施できるようにする。

授業計画・内容			
1回目	前期実施してきた基礎トレーニングの確認し実演出来る		
2回目	細かい基礎トレーニングを習得		
3回目	細かい基礎トレーニングを用いて発声の応用が出来る		
4回目	複式呼吸を再確認し課題曲に生かす事が出来る		
5回目	共鳴を再確認し課題曲に生かす事が出来る		
6回目	ファルセットを再確認し課題曲に生かす事が出来る		
7回目	複式呼吸、共鳴、ファルセット(小テスト)		
8回目	ソルフェージュ超強化し理解出来る(新しいソルフェージュ発声法の講義含め)		
9回目	ソルフェージュ超強化し実演出来る(新しいソルフェージュ発声法の講義含め)		
10回目	細かい基礎トレーニングを行い発声を応用できる		
11回目	発声トレーニングの重要性を理解し課題曲に生かす事が出来る		
12回目	発声トレーニングの重要性を理解し課題曲に生かす事が出来る		
13回目	後期のトレーニングを理解し説明出来る		
14回目	後期のトレーニングを実演出来る		
15回目	後期基礎トレーニングテスト		
準備学習 時間外学習	授業外での個人練習、および予習、復習。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(基礎知識の理解力、実演力)
受講生への メッセージ	自分にしかない才能を開花させるためにはまず基礎を習得する事が必須となります。その為には多大なる時間をかける必要があります。今の自分に満足せずより高いレベルに行くために、日々課題をもって基礎トレーニングをしていきましょう。それを乗り越えた時には必ず成長した自分に出会えます。		
【使用教科書・教材・参考書】			
iPad			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ゴスペル (Gospel)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜1・2限目

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
 また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校
 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを
 行う。

【到達目標】
 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。

授業計画・内容			
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャーし楽曲を理解出来る		
2回目	メディテーションワーク、2曲復習楽曲を歌唱出来る		
3回目	新曲1曲レクチャー、1曲パフォーマンスが出来る		
4回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス出来る		
5回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得		
6回目	楽曲復習、パフォーマンスを習得		
7回目	3曲新曲をレクチャーし楽曲を理解出来る		
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る		
9回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンスが出来る		
10回目	プレイフルワーク、楽曲復習		
11回目	楽曲復習、新曲レクチャーし理解できる		
12回目	楽曲復習、新曲の歌唱出来る		
13回目	楽曲復習、ケイティワーク		
14回目	楽曲復習、クラス内パフォーマンスが出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	実技テスト(楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか)		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。		
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード、ボイスレコーダー			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ゴスペル (Gospel)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	有限会社ソウルマティックス
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜1・2限目

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。
 また、外化をすることで他者とのコミュニケーションをはかり、そのスキルも習得。
〈講師プロフィール〉有限会社ソウルマティックスのディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校
 やボーカルスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを
 行う。

【到達目標】
 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」、それらを体感し信じられるようになる。

授業計画・内容

1回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
2回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
3回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
4回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
5回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
6回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
7回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
8回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
9回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
10回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
11回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
12回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る
13回目	ワーク、新曲1曲レクチャーし楽曲を理解出来る
14回目	ワーク、前回の楽曲を歌唱出来る
15回目	ワーク、前回の楽曲をパフォーマンスしながら歌唱出来る 実技テスト

準備学習 時間外学習	実技テスト(楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか)
---------------	--

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
------	--	--	--

受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】
 歌詞カード、ボイスレコーダー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ヴォーカルコース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2・3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実践に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 * 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSMにてVocal&Dance講師を行なっている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックの知識を身につけることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
6回目	簡単な動きの中で、自分が良く見える姿勢、ポーズ、シルエットを研究し歌唱パフォーマンスができるようになる
7回目	ステップ、ポーズのバリエーションを増やし、歌唱パフォーマンスができるようになる
8回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
9回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
10回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスができるようになる
11回目	振り付けの中で自分の見せ場がどこか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
12回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
13回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ヴォーカルコース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2・3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実践に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 * 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSMにてVocal&Dance講師を行なっている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来るようになる
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
3回目	リズム+グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	共鳴についての知識を身につけることができる
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える知識を身につけることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を行うことができる
11回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、前期よりクオリティの高い歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、隙のないパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ヴォーカルコース			(単位)	4	曜日・時限	木曜4・5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実践に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 * 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSMにてVocal&Dance講師を行なっている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパトリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ヴォーカルコース			(単位)	4	曜日・時限	木曜4・5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実践に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。 * 実務経験(Dance & Vocal): WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSMにてVocal&Dance講師を行なっている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	日比野 賢司
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	月曜6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※実務者経験:自身のバンドのドラマーとしてインディーズチャート上位ランクインをはたし、全国でライブツアーを回る。バンド活動以外にインストラクターやレコーディング、スタジオミュージシャンとして名古屋を中心に多岐にわたって活動。自身のドラムスクール運営を経験。

- 【到達目標】**
1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
 4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる
 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容													
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)												
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える												
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践												
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践												
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>												
6回目	グループワーク:業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する												
7回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ①												
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める												
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う												
10回目	グループワーク:夢への一步を踏み出す勇気を身につける												
11回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ②												
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う												
13回目	グループワーク:振り返りとこれからの目標設定を行う												
14回目	ミュージカル演習 リハーサル												
15回目	ミュージカル演習 本番												
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く												
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%) <table style="font-size: small; margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>100~90点</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>89~80点</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>79~70点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>69~60点</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>59点以下</td> <td>F不合格</td> </tr> </table>	評価方法はGPA制度となります		100~90点	S	89~80点	A	79~70点	B	69~60点	C	59点以下	F不合格
評価方法はGPA制度となります													
100~90点	S												
89~80点	A												
79~70点	B												
69~60点	C												
59点以下	F不合格												
受講生への メッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。												
【使用教科書・教材・参考書】													
筆記用具 iPad													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	日比野 賢司
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	月曜6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※実務者経験: 自身のバンドのドラマーとしてインディーズチャート上位ランクインをはたし、全国でライブツアーを回る。バンド活動以外にインストラクターやレコーディング、スタジオミュージシャンとして名古屋を中心に多岐にわたって活動。自身のドラムスクール運営を経験。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR ・ 趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野 ・ 関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜6限 金曜6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
 実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容

1回目	L1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
2回目	L1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
3回目	L3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
4回目	L3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
5回目	L6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
6回目	L6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
7回目	L8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
8回目	L8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
9回目	L11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
10回目	L11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
11回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
12回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説

準備学習
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
------	--	--	--

受講生へのメッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜6限 金曜6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
 実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容

1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
3回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
4回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
5回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
6回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
9回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
10回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説

準備学習
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
------	---	--	--

受講生へのメッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】 実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。							
【到達目標】 日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①: 古代の音楽
4回目	西洋音楽史②: 中世の音楽
5回目	西洋音楽史③: 近代の音楽
6回目	西洋音楽史④: 現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤: ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥: ポップス
9回目	日本音楽史①: ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②: 民謡
11回目	日本音楽史③: 雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係: 俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書: 「Western Music」Claude V. Palisca他 副読本: 「音楽中辞典」池辺晋一郎 等 準備物: メモ、筆記用具等	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜4限

【授業の学習内容】

海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。
 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。

【到達目標】

世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代 モータウン ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代 サイケデリックミュージック ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代 ハードロック、グラムロック 表現手法の多様化
10回目	70年代 ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代 パンクロック 既存の音楽の解体
12回目	80年代 HIPHOPカルチャー MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽 エンターテインメントについて テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 音楽史(洋楽編iPad)
 配布資料他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	楽器メンテナンス (Instrument maintenance)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	河野 充生
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜5・6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。 <講師プロフィール>ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あし、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など、ロックバンドBlind Birdなどでも精力的に活動中。							
【到達目標】 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。							

授業計画・内容							
1回目	生楽器の名称とその音色について① ギターの種類や音色、音源からの聴き取りができる。						
2回目	生楽器の名称とその音色について② ベースの種類や音色、音源からの聴き取りができる。						
3回目	生楽器の名称とその音色について③ キーボードの種類や音色、音源からの聴き取りができる。						
4回目	生楽器の名称とその音色について④ ドラムスの種類や音色、音源からの聴き取りができる。						
5回目	ドラムセットについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
6回目	ドラムセットについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
7回目	ベースについて① ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
8回目	ベースについて② ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
9回目	ギターについて① ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
10回目	ギターについて② ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
11回目	キーボードについて① キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
12回目	キーボードについて② キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。						
13回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得する。						
14回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得す						
15回目	総復習とテスト。						
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみることで、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMIに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。						
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td rowspan="5">評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	2. 小テスト(%)	3. レポート(%)	4. 課題成果(%)	5. 実地試験(%)
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格						
2. 小テスト(%)							
3. レポート(%)							
4. 課題成果(%)							
5. 実地試験(%)							
受講生への メッセージ							
【使用教科書・教材・参考書】 チャート、プリントを配布。							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	楽器メンテナンス (Instrument maintenance)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	河野 充生
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜5・6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。 <講師プロフィール>ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太朗、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あし、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など、ロックバンドBlind Birdなどでも精力的に活動中。							
【到達目標】 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、 4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。							

授業計画・内容							
1回目	ドラムセットについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
2回目	ドラムセットについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
3回目	ベースについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
4回目	ベースについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
5回目	ギターについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
6回目	ギターについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
7回目	キーボードについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
8回目	キーボードについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
9回目	パーカッションについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
10回目	パーカッションについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
11回目	ストリングスについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
12回目	ストリングスについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
13回目	ホーンズについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
14回目	ホーンズについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
15回目	総復習とテスト。						
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみることで、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMIに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。						
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td rowspan="5">評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	2. 小テスト(%)	3. レポート(%)	4. 課題成果(%)	5. 実地試験(%)
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格						
2. 小テスト(%)							
3. レポート(%)							
4. 課題成果(%)							
5. 実地試験(%)							
受講生への メッセージ							
【使用教科書・教材・参考書】 チャート、プリントを配布。							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	松原 匠
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜5・6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。							
【到達目標】 基本的な楽器の操作ができるようになること。課題曲の自分のパートを耳コピができるようになること。シャッフル、イーブンの違いや、ハネたリズムを理解できること。ブルース進行でバックিং、ソロ、キューを出せるようになること。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、1年間での具体的な目標設定
2回目	楽器の基本的な使用方法を理解し操作できるようにする
3回目	担当楽器のバンド内での役割を理解し演奏できるようにする
4回目	7thのコードを理解し弾けるようにする
5回目	ブルース進行について理解しバックিংができるようにする
6回目	シャッフルのリズムを理解し弾けるようにする
7回目	基本的なブルース進行でセッションができるようにする
8回目	耳コピの方法を習得する
9回目	耳コピで音をとり再現できるようにする
10回目	ダイアトニックコードを理解できるようにする
11回目	ダイアトニックコードを理解しキーチェンジができるようにする
12回目	8分のグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
13回目	16分の細かいグルーヴを体で感じ演奏できるようにする
14回目	今までのおさらい
15回目	実技テスト
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80%
	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	アンサンブルの中で必要な技術を教えていきます。奏法や知識を使いカッコいいミュージシャンになりましょう。よろしくお願いします。
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	選択必修	年次	1・2年	担当教員	松原 匠
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜5・6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。							
【到達目標】 ファンク、ジャズ、ロックのリズム感を理解し、バックিংやソロを弾けるようにすること。アレンジはどのように入れれば良いかを判断できること。チャーチモードを理解し弾けるようにすること。							

授業計画・内容			
1回目	前期のおさらい		
2回目	ファンクの16分のリズム感を習得し、演奏できるようにする		
3回目	ゴーストノートや休符を入れたパーカッシブなソロを弾けるようにする		
4回目	演奏しながらコーラスする方法を習得し、実践できるようにする		
5回目	ペントニックを使ったロックなフレーズを習得し、弾けるようにする		
6回目	担当パートが無い曲での演奏方法を習得し、アンサンブルに活かせるようにする		
7回目	ブルーノートなどの半音を使ったフレーズを弾けるようにする		
8回目	スイングのリズムを理解し弾けるようにする。		
9回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする		
10回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする		
11回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする		
12回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする		
13回目	今までのおさらい		
14回目	実技テスト		
15回目	総復習		
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。		
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	前期では基本的な楽器の操作や役割を習得しましたが、後期ではもう少し他のジャンルのリズムや知識を教えていきます。幅を広げて様々なジャンルに携わることができるミュージシャンを目指しましょう。よろしくお祈いします。		
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キーボード	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜3・4限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。
 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。

【到達目標】
 弾き語り及び両手奏演奏を通し音楽の表現力を向上させる。
 音楽活動をする上で必要な感性、技術等を専攻以外の分野からも学び、修得することによって自分の可能性や向上に活用、応用できる能力を身につける。

授業計画・内容			
1回目	鍵盤に慣れる(英音名、Scale、運指)長音階、半音階の理解、CMajorScale上の和音について説明出来る		
2回目	DmajorとTonic	弾き語りの準備(コード奏とスケール奏)コードを習得	
3回目	EmajorとTonic	読譜力を強化しコード進行譜の作成出来る	
4回目	FmajorとTonic	コードとコードネームを説明出来る	
5回目	GmajorとTonic	一段符を見ながら伴奏形を実演出来る	
6回目	AmajorとTonic	一段符を見ながら伴奏形を実演出来る	
7回目	BmajorとTonic	中間テスト Scale、コードネームとPositionMajorコード、minorコードを習得	
8回目	D b majorとTonic	ジャズのフィーリングに慣れる為、既成の曲をCDに合わせて習得	
9回目	E b majorとTonic	CDに合わせて弾くことでアンサンブルの感覚を習得(各自のレベルに合わせる)	
10回目	G b majorとTonic	弾き語りの為の伴奏形、変奏、コードを習得	
11回目	A b majorとTonic	弾き語り曲、Pianosolo曲を実演出来る	
12回目	B b majorとTonic	発声練習を各自でできる様に12のKeyTonic半音上行形を習得	
13回目	12のKeyのScaleを説明出来る		
14回目	12のKeyのScaleを実演出来る		
15回目	12のKeyのScaleとTonic期末テスト、弾き語り、ジャズフィーリングの曲		
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(Piano演奏力と理解度)
受講生への メッセージ	1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけて行きましょう		
【使用教科書・教材・参考書】 譜面			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キーボード	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	松原 匠
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜3・4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。							
【到達目標】 ・弾き語り、及びPianosoloの技術を修得し、音楽表現の幅を広げる ・「曲にする」ということを認識し、演奏力を修得する							

授業計画・内容			
1回目	新曲の曲想、構成、演奏スタイルを習得。(ドレミ唱、CD鑑賞)オーホーリーナイト		
2回目	オーホーリーナイトのコード譜を作成出来る		
3回目	歌詞(英語)の発音及びフレージング、アーティキュレーションをマスターする。コード譜作成		
4回目	日本の童謡を英語歌詞で弾き語りし、移調が出来る。T,S,Dの移調		
5回目	「オーホーリーナイト」のコード進行、構成をマスターし、伴奏出来る		
6回目	長音階、短音階以外の音階を習得。「かえるの合唱」CDで様々な音階の特徴を習得		
7回目	長音階、短音階以外の音階を習得。「かえるの合唱」CDで様々な音階の特徴を習得		
8回目	弾き語り曲及びPianosolo曲を実演出来る。メロディー奏、両手奏、コード奏		
9回目	弾き語り曲のコードを基本形で実演出来る。12のKeyのT,S,Dを完全にマスターする		
10回目	弾き語り曲のコードを転回形で実演出来る。12のKeyのT,S,Dを完全にマスターする		
11回目	中間テスト「かえるの合唱」「オーホーリーナイト」「故郷」		
12回目	「オーホーリーナイト」を自分の好きなアレンジで出来るようになる		
13回目	「ロクリアモード さくらさくら」チャーチモードの説明が出来る		
14回目	Pianosolo,弾き語り		
15回目	期末テスト		
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(Piano演奏力と理解度)
受講生への メッセージ	1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけて行きましょう		
【使用教科書・教材・参考書】 譜面			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	VocalプロダクションI	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	斉藤修平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】							
<p>簡単なボーカルのエディットの技術ボーカルミックスの技術を習得する。 * 実務経験: 作曲家としてボーカルのボーカルディレクション及びピッチ補正を行なっている。</p>							
【到達目標】							
<p>メロダイнを使ってピッチ補正する技術またボーカルに対するEQ、コンプなどを使用する技術を習得する。</p>							
授業計画・内容							
1回目	Melodyneについて						
2回目	Melodyneの使い方						
3回目	Melodyneを使ったピッチ補正1						
4回目	Melodyneを使ったピッチ補正2						
5回目	Melodyneを使ったピッチ補正3						
6回目	Melodyneの作業速度を上げる1(使用するボーカルの変更)						
7回目	Melodyneの作業速度を上げる 2						
8回目	EQ、コンプレッサーについて						
9回目	空間系エフェクトについて						
10回目	ボーカルミックスについて						
11回目	ミックス後のMelodyneの使用1						
12回目	ミックス後のMelodyneの使用2						
13回目	ミックス後のMelodyneの使用3						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学習	Melodyneの操作に慣れる。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	Melodyneおそらく使用したことのないプラグインかと思いますが現在一番使われているボーカルエディットプラグインです。慣れない作業になるかとは思いますが楽曲制作する上で必ず役に立つツールになりますので意欲的に取り組みましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	VocalプロダクションII	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	斉藤修平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】							
ボーカルのエディットの技術ボーカルミックスの技術を習得する。* 実務経験: 作曲家としてボーカルのボーカルディレクション及びピッチ補正を行なっている。							
【到達目標】							
メロダイ、プロツールズを使ってピッチ補正、エディットする技術またボーカルに対するEQ、コンプなどを使用する技術を習得する							
授業計画・内容							
1回目	プロツールズの使い方						
2回目	プロツールズの使い方2						
3回目	波形編集について学ぶ1						
4回目	波形編集について学ぶ2						
5回目	波形編集について学ぶ3						
6回目	波形編集した後のボーカルエディットについて1						
7回目	波形編集した後のボーカルエディットについて2						
8回目	高度なボーカルエディットのみキシングについて学ぶ1						
9回目	高度なボーカルエディットのみキシングについて学ぶ2						
10回目	ボーカルを使った特殊な編集について学ぶ						
11回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ1						
12回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ2						
13回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ3						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学習	Melodyneの操作に慣れる。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	より歌のディテールをエディット制作していきます。細かい作業が多く変化も些細なものになってきますがいい作品にするためには些細なことの積み重ねです。集中して取り組みましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	サウンドプロダクションI	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	斉藤修平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜6限
【授業の学習内容】							
DTMを使い簡単な音楽制作のスキルを習得する。 * 実務経験: 作家として作家事務所に所属し、アーティストへの楽曲提供をしている。							
【到達目標】							
簡単な編曲、作曲、作詞などを1人で行える技術を習得する。							
授業計画・内容							
1回目	パソコンの使い方、設備の使い方を理解する						
2回目	DTMの簡単な使い方を学ぶ						
3回目	音楽ジャンルについて						
4回目	ディスコについて						
5回目	ディスコ:ドラムのサウンドの選び方						
6回目	ディスコ:ドラムのフレーズを制作、アウトライン						
7回目	ディスコ:コードを制作						
8回目	ディスコ:シンセサイザーについて学ぶ						
9回目	ディスコ:シンセサイザーのフレーズを制作する						
10回目	簡単なメロディーを制作する						
11回目	簡単な歌詞を制作する						
12回目	簡単なミックス、マスタリング技術を習得する						
13回目	ビートメイキングに関するテスト						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学習	自分が使用するDTMの簡単な使い方。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格		制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。			
受講生への メッセージ	レベルIの授業なので簡単なDTMの使い方などでもぜひ質問をして理解できない部分がない様に努めてください。また制作時間が長いですが集中して授業に参加してください。また授業で出てくる音楽ジャンルに興味を持ち様々なジャンルに興味を持ってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	サウンドプロダクションII	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	齊藤修平
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】							
DTMを使い音楽制作のスキルを習得する。 * 実務経験: 作家として作家事務所に所属し、アーティストへの楽曲提供をしている。							
【到達目標】							
編曲、簡単な作曲、作詞などを1人で行える技術を習得する。							
授業計画・内容							
1回目	ハウス音楽とは						
2回目	ハウス音楽に使われるドラムサウンドについて学ぶ						
3回目	ハウス音楽で使われるシンセサイザーの音、ビートメイキング						
4回目	シンセウェーブ、エレクトロポップ、シンセポップについて						
5回目	シンセウェーブのサウンドについて						
6回目	シンセウェーブの制作及びアナログシンセサイザーについて						
7回目	レゲトン及びラテンミュージックについて						
8回目	レゲトンで使用されるドラムサウンド及びシンセサウンド						
9回目	レゲトンのビート制作						
10回目	ミキシングについて						
11回目	ミキシングについて						
12回目	マスタリングについて						
13回目	マスタリングについて						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学習	自分が使用するDTMの簡単な使い方。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	レベルIIのサウンドプロダクションの授業では様々なジャンルを広く学びます。ぜひ様々な音楽に触れ興味を持ってください。またミックス、マスタリングではより高度なことをします。多少理解しきれない部分もあるかと思いますが頑張ってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林 達也
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜 5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。
 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】
 音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造(1)／日本のレコード産業・全体像□
2回目	音楽業界の構造(2)／日本レコード協会・JASRAC□
3回目	著作権の基礎(1)概要／構造
4回目	著作権の基礎(2)歴史／現在□
5回目	アーティストの権利／印税とは
6回目	収入シミュレーション(CD販売)
7回目	収入シミュレーション(ダウンロード／音楽配信)
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分□
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(1)
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(2)
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□

**準備学習
時間外学習**
 現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学ぶ必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきました。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。

評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
-------------	--	---

受講生へのメッセージ
 使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏)
 参考書:18歳の著作権入門(福井 健策)

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林 達也
学科	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	金曜 5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】
 音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。

授業計画・内容	
1回目	音楽業界の構造・応用編(1)□
2回目	音楽産業の構造・応用編(2)□
3回目	著作権の必須知識／使える著作権
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(1)□
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(2)
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(1)
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(2)□
8回目	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情□
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約(1)
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約(2)
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。
【使用教科書・教材・参考書】	
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論 I (musical theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜4.5
【授業の学習内容】 音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。 ※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。							
【到達目標】 音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。 また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論Ⅱ (musical theory Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	渡辺智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜4.5

【授業の学習内容】

音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。

※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。
基本形でのコードがわかる。

授業計画・内容

1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習

準備学習
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント